

県政の動き

4月11日(土)～6月10日(水)

- 4月11日(土) ★県立楠隼中学校・楠隼高等学校 開校式・入学式
- 4月12日(日) 鹿児島県議会議員選挙
- 4月15日(水) 消防関係功労者表彰式
- 4月16日(木) ★大隅加工技術研究センター開設
- 4月17日(金) ★県立鹿児島聾学校新築移転記念式典
- 4月19日(日) ★第11回関西がこしまファンデー
- 4月22日(水) ★「かこまふるさと屋台村」プレオープン
- 4月25日(土) 元気もりもり！畜産フェア
- 4月29日(水) みどりの感謝祭
- 5月4日(月) 日本の近代化産業遺産群「九州・山口及び関連地域」イコモスによる評価結果・報告
- 5月7日(木)～8日(金) ★地域リーダーと語る会
- 5月20日(水) 鹿児島県総合教育会議
- 5月21日(木) 鹿児島県総合防災訓練
- 5月25日(月) 薩摩義士顕徳慰霊祭
- 5月29日(金)～31日(日) ★かごしま遊楽館20周年誕生祭
- 5月29日(金) □永良部島(新岳)噴火
- 6月2日(火) ★稲盛和夫京セラ名誉会長からの寄附金贈呈式

★は写真入りで紹介

4月11日(土)

県立楠隼中学校・楠隼高等学校 開校式・入学式



楠隼中学校・楠隼高等学校の開校式と入学式が、伊藤知事や永野肝付町長、古川県教育長をはじめ、関係者合わせて約600人が出席のもと挙行された。

知事からは、「楠隼で大いに自分を鍛え、強い胆力を身に付け、あらゆる分野で活躍できる人材となってくれることを願っています」と新入生に向けてエールが贈られ、県内外から楠隼の学舎に集まった生徒たちは、「楠が広がる空へ、隼が羽ばたくように邁進していきたい」と、一期生として伝統を築いていく決意を固めていた。

入学式後には、地元肝付町の皆さんによって地域の食材を生かした食事が準備され、伊藤知事も生徒や保護者らとの会食で親睦を深めた。



4月16日(木)

大隅加工技術研究センター開設



素材提供型農業から一次加工による高付加価値型農業への展開を図る拠点として、「大隅加工技術研究センター」を開設した。

当日は、多くの方々の出席のもと、オープニング式典が盛大に行われ、施設見学会も併せて行われた。

当センターは、新たな加工・流通技術に関する研究や開発と、加工事業者などによる加工品の開発・試作や販路拡大の取り組みを支援することができる全国に類を見ない総合施設となっている。

今後、当センターを核として、県産農産物などの付加価値を高める取り組みを推進し、農業を基盤とした地域の活性化につなげていくこととしている。



県立鹿児島聾学校新築移転記念式典



モニターが設置され、65人の子供たちは、これまで以上に充実した、安全安心な学習環境の中で、楽しく学習に励んでいる。



幼稚部から高等部専攻科までの聴覚障害のある子供たちが学ぶ県立鹿児島聾学校は、創立113年目を迎える今年、草牟田から下伊敷に新築移転し、記念式典が開催された。

伊藤知事を始め、大勢の学校関係者や地域の方が出席する中で、全国聾学校合奏コンクールで最高賞を受けた子供たちによる合奏や、全校合唱を披露し、新たな学校の門出を祝った。

新校舎には、最新の集団補聴システムや、緊急時に文字情報を素早く伝える数多くの

第11回関西かごしまファンデー



当日は、約3万6000人が来場し、早い段階で特産品が売り切れるブーイングが出るなど、会場は、1日中熱気であふれていた。



関西エリア最大の物産観光展「第11回関西かごしまファンデー」が開催された。このイベントは、京セラドーム大阪において平成14年からスタートし、今回で11回目を迎える。

伊藤知事は、関西鹿児島県人会総連合会の稲盛会長らとともに、特設ステージに登壇し、県産品や当県への誘客のPRを行った。

今回は、約250企業・団体の318ブースが出展し、各市町村の特産品などの販売、本県出身の芸能人や県人会会員のステージショーなどが行われた。

「かごまふるさと屋台村」プレオープン



同村には、かごしまの食の魅力を提供する場として大きな役割を担うとともに、地域経済の活性化に引き続き寄与することが期待される。



鹿児島島の玄関口の鹿児島中央駅前に立地し、平成24年の開村後、3年間で約130万人が訪れ、各種の本県食材を扱う「かごまふるさと屋台村」が4月23日のリニューアルオープンに先立ち、関係者多数出席のもとプレオープン式典を開催した。

式典では、鹿児島グルメ都市企画の古木理事長や伊藤知事などのあいさつのほか、出店者で構成する屋台村の林大智村長が「鹿児島を代表する責任と誇りを持ち、県産品を利用した料理と焼酎、観光案内で心からもてなす」という決意表明を行った。

地域リーダーと語る会 (さつま町・伊佐市)



伊藤知事が県民と直接対話を行う「知事と語る会を、「地域リーダーと語る会」と題してさつま町および伊佐市において開催し、それぞれ各分野のリーダー約20人が出席した。

第一部では、4月に放送された県政広報番組の知事インタビューを放映し、知事の県政運営に対する考えを説明した後、各分野の現状や課題などについて地域リーダーと知事が意見交換を行った。

第二部では、知事と地域リーダーが会食しながら、地域の未来について語り合った。また、知事は語る会に先立ち、地域応援団を結成して地域の活性化に取り組んでいる県立伊佐農林高校などを視察した。



かごしま遊楽館20周年誕生祭



東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かごしま遊楽館」の誕生祭が開催された。

「かごしま遊楽館」は、平成7年5月30日にオープンし、今年で20周年を迎えた。節目の年である今年は、プレゼントの配布やお楽しみ抽選会、旬の農産物販売、10月31日から開催される「かごしま国文祭」のPRのほか、奄美の島唄ライブや、県と交流のある清泉女子大学生サークルによるステージイベントなどを行い、会場は多くの来場者で賑わいを見せた。

また、期間中は1階から3階の各店舗で特別企画を展開し、鹿児島島の食や文化などを大いにアピールした。



稲盛和夫京セラ名誉会長からの寄附金贈呈式



稲盛和夫京セラ名誉会長から県および鹿児島市への寄附金贈呈式が、6月2日に行われた。

稲盛名誉会長から「鹿児島の若者たちを含めて海外に開かれた鹿児島をつくること、国際的な交流をすることには意義があると考え寄附をさせていただいた」とのお話があった。

いただいた寄附金は、鹿児島における国際交流のさらなる発展のため、外国人留学生を受け入れるとともに、留学生などと県民・市民が交流することのできる「国際交流センター（仮称）」の建設資金として、県と市が一体となって活用することとしている。

